

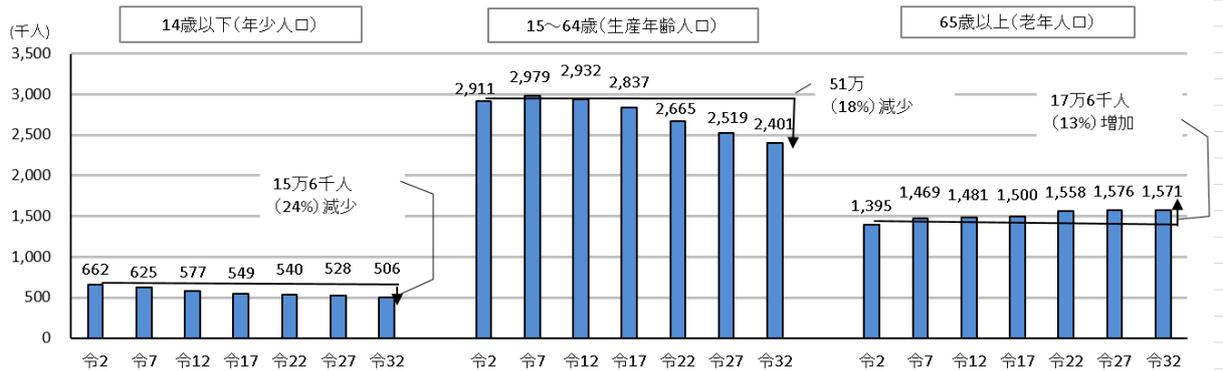
# 福岡県の現状

## 1 人口の変化

### (1) 福岡県の人口

福岡県の人口は、これまで増加基調でしたが、今後、減少に向かうと見込まれています。少子高齢化に伴い、年少人口や生産年齢人口の割合が低下し、経済力の低下や地域の担い手不足をもたらすことが懸念されています。

《図表 1-1 年齢区分別将来人口（福岡県）》

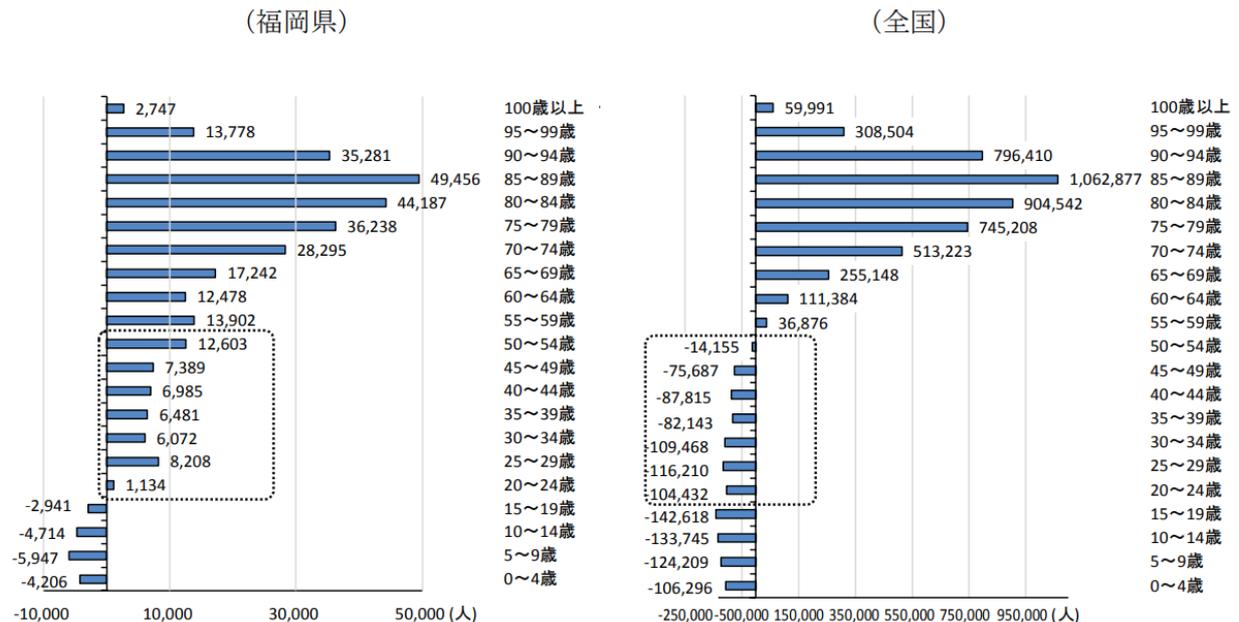


備考：令和2年までは総務省「国勢調査」（令和2年）、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口」（令和5年）より作成

### (2) 人口の女性比率

人口を男女で比較した場合、20代～50代前半の男女比について、全国では女性の割合が少ないが、福岡県では20代から女性の割合が男性を上回っていることが特徴となっています。

《図表 1-2 人口構成：女性－男性》



備考：総務省「国勢調査」（令和2年）

### (3) 家族形態の変化

「単独世帯」が増加しており、令和2年は、昭和60年の約3倍となっています。

《図表1-3 家族類型別の世帯数（福岡県）》

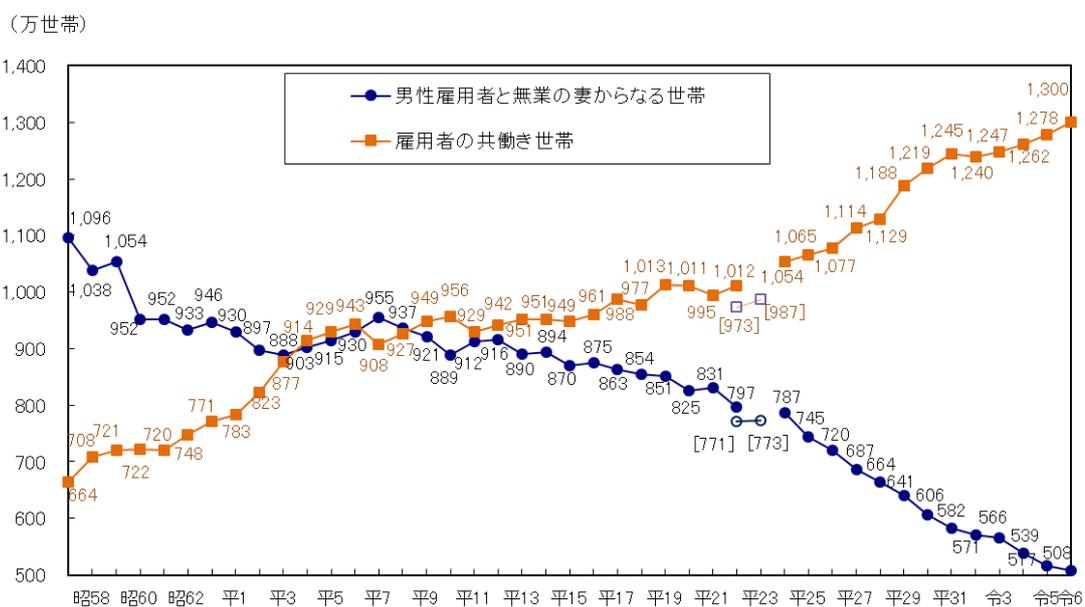
	核家族世帯	その他の親族と一緒にの世帯				非親族世帯	単独世帯	
		うち、夫婦のみ	うち、夫婦と子ども	うち、男親と子ども	うち、女親と子ども			
昭和60年	938,106	222,441	601,969	14,652	99,044	252,522	2,833	325,119
平成2年	985,495	260,525	595,046	17,271	112,653	241,211	3,253	393,846
平成7年	1,045,830	305,350	594,657	19,664	126,159	233,122	5,178	490,053
平成12年	1,103,324	346,517	589,607	22,350	144,850	218,615	8,206	576,717
平成17年	1,135,958	369,671	578,203	24,783	163,301	206,523	12,150	630,031
平成22年	1,163,436	394,489	567,730	25,105	176,112	183,962	19,646	736,339
平成27年	1,197,150	420,249	567,372	26,619	182,910	156,857	17,556	820,806
令和2年	1,213,986	440,783	553,879	28,051	191,273	130,349	21,570	942,993

備考：総務省「国勢調査」

### (4) 共働き世帯の推移

夫婦ともに雇用者となっている共働き世帯数は全国的に増加しており、令和6年には1,300万世帯と過去最高となりました。一方、雇用者の夫と無業の妻からなる片働き世帯は減少しており、令和6年は508万世帯となっています。

《図表1-4 共働き等世帯数（全国）》



1. 昭和58年から平成13年は総務省「労働力調査特別調査」（各年2月）、14年以降は「労働力調査（詳細集計）」（年平均）より作成。
2. 「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、平成29年までは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。平成30年以降は、就業状態の分類区分の変更に伴い、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び失業者）の世帯。
3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。
4. 平成22年及び平成23年の[ ]内の実数は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。
5. 「労働力調査特別調査」と「労働力調査（詳細集計）」とは、調査方法、調査月などが相違することから、時系列比較には注意を要する。

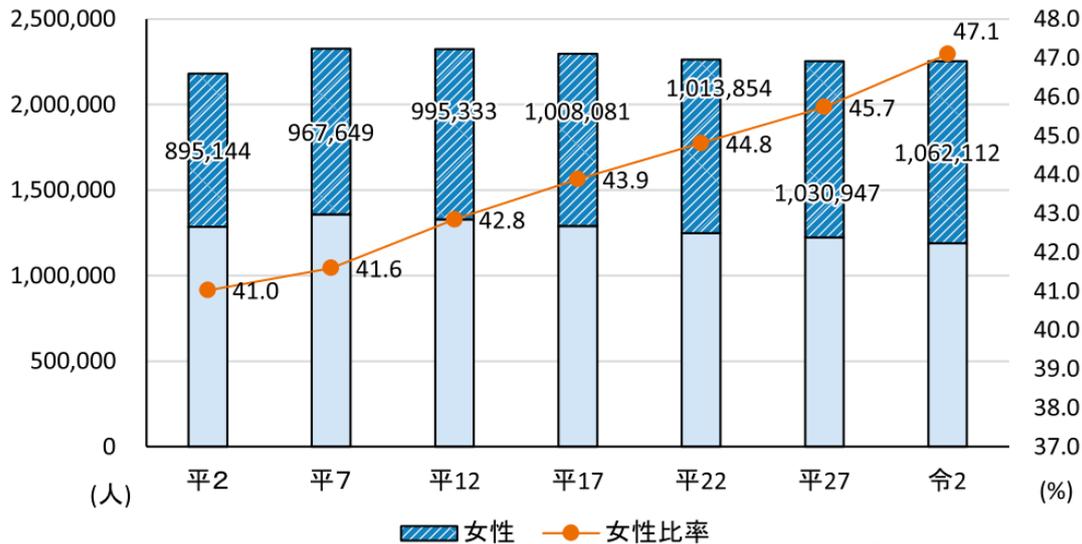
備考：総務省統計局「労働力調査」

## 2 女性の就労をめぐる状況

### (1) 女性の就業状況

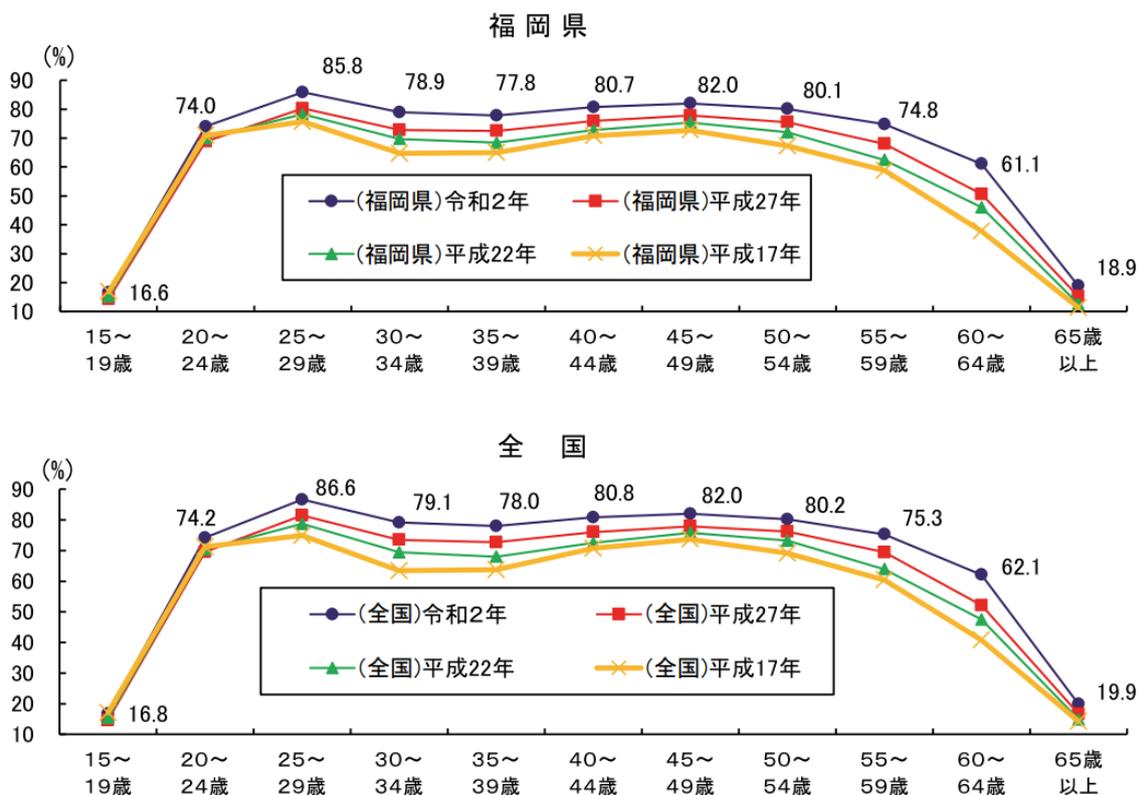
女性の就業者数は増加しており、就業者に占める女性の割合も増加しています。また、出産・育児等による離職に伴う労働力の低下（いわゆる「M字カーブ」）の底は年々浅くなっています。

《図表2-1 女性の就業者数・就業者に占める女性割合（福岡県）》



備考：総務省「国勢調査」

《図表2-2 女性の年代階級別労働力率（福岡県・全国）》



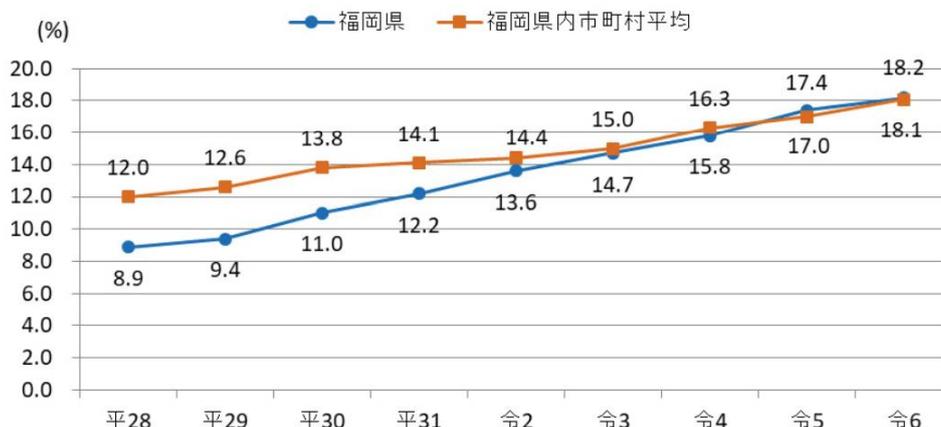
備考：総務省「国勢調査」

## (2) 管理職に占める女性の割合

県や市町村の職員における女性の管理職への登用は、年々進んでいます。福岡県における女性公務員の管理職登用の割合は、令和6年4月で18.2%、県内市町村における同割合は18.1%となっています。

県内事業所における管理的職業従事者に占める女性の割合は、令和4（2022）年に17.9%まで上昇しましたが、いまだ低い状況にあります。

《図表2-3 女性公務員の管理職登用の状況（福岡県）》



※福岡県の数字は、知事部局、教育庁、県警本部の合計数値

(注) 市町村の管理職登用の状況については、課長相当職以上の職員について、集計している。

備考：福岡県男女共同参画推進課調べ

《図表2-4 県内事業所における管理的職業従事者に占める女性の割合（福岡県）》

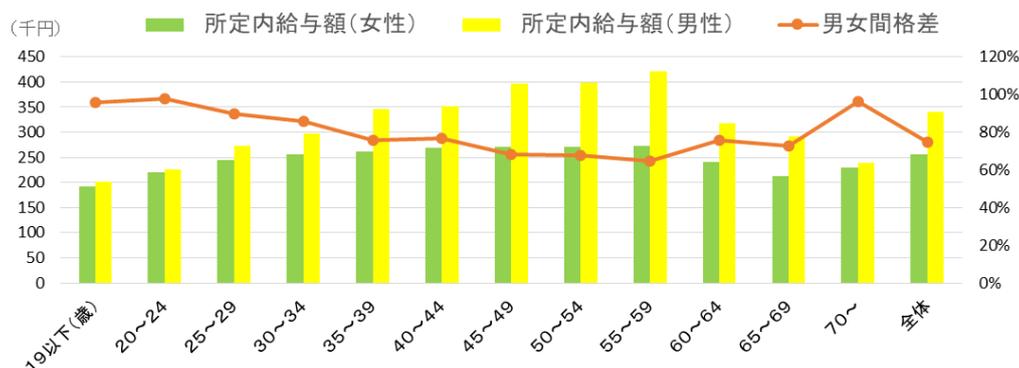
	福岡県
平成29年	17.3%
令和4年	17.9%

備考：総務省「就業構造基本調査」

## (3) 男女間賃金格差

男性の給与水準を100とした場合の女性の給与水準は74.9%となっています。20代までは90台で推移しますが、その後、50代まで年齢が上がるにつれて男女間の格差は拡大しています。

《図表2-5 男女年齢階級別の所定内給与額と男女間格差（福岡県）》

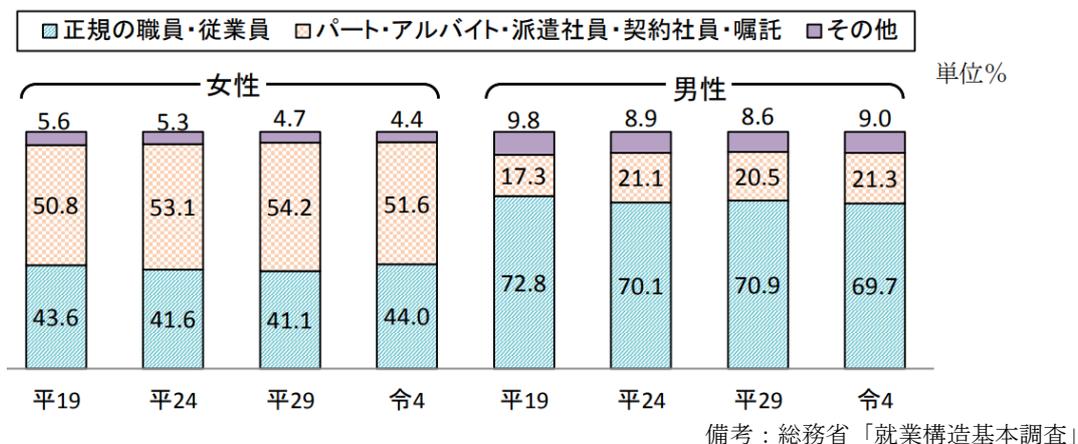


備考：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（令和6年）

#### (4) 雇用者に占める非正規雇用者の構成割合

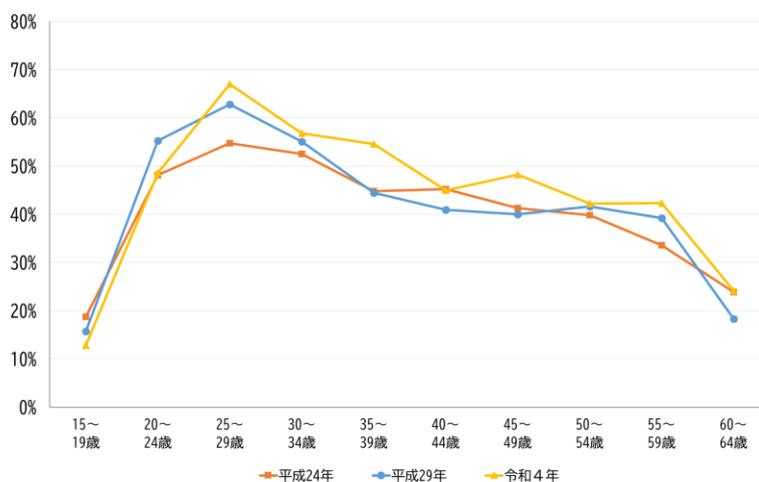
パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託などの非正規労働については、女性の非正規雇用率が5割を超えるのに対し、男性は2割と男女差が生じています。

《図表2-6 男女の雇用形態（福岡県）》



女性の年齢別階級正規雇用比率は、20代後半をピークに低下し、30代以降は非正規雇用の割合が高くなる、いわゆる「L字カーブ」を描いています。

《図表2-7 女性の年齢階級別正規雇用比率（福岡県）》



#### (5) 女性の起業割合

福岡県では、女性起業者の割合は増加していますが、全国的にみても男女間で大きな差があり、女性の起業者はまだまだ少ない状況です。

《図表2-8 有業者に占める起業者の割合（福岡県・全国）》

	平成29年		令和4年	
	女性	男性	女性	男性
福岡県	3.1%	10.5%	3.2%	11.0%
全国	3.2%	10.4%	3.4%	9.9%

備考：総務省「就業構造基本調査」より作成

起業者の割合は（「自営業主」のうち「起業者」＋「会社などの役員」のうち「起業者」）／「有業者数」×100により算出

## (6) 男女の労働時間

男女別の長時間労働の状況を見ると、年間就業日数 200 日以上の雇用者のうち週間就業時間が 60 時間以上の者の割合（以下「長時間労働者の割合」という）は、男性が 8.8%、女性が 3.6%といずれも全国平均を上回っています。

《図表 2-9 男女別長時間労働者の割合（福岡県・全国）》

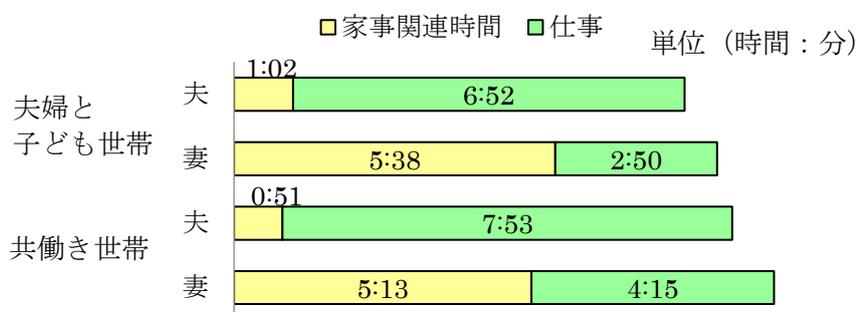
	女性	男性
福岡県	3.6%	8.8%
全国	2.8%	7.9%

備考：総務省「就業構造基本調査」（令和 4 年）

## (7) 家事や育児など家庭内の役割分担

福岡県内の夫婦の生活時間を比較した場合、夫と妻の間で大きな開きがあります。

《図表 2-10 夫婦と子ども世帯・共働き世帯の一日の家事関連時間（福岡県）》



備考：総務省「社会生活基本調査」（令和 3 年）

## (8) 男女別育児休業の利用状況

県内事業所における男性の育児休業取得率は大きく上昇しているものの、女性に比べると依然として低い状況です。

《図表 2-11 男女別育児休業取得率（福岡県）》

	女性	男性
平成 28 年	94.6%	3.7%
令和 5 年	95.7%	54.6%

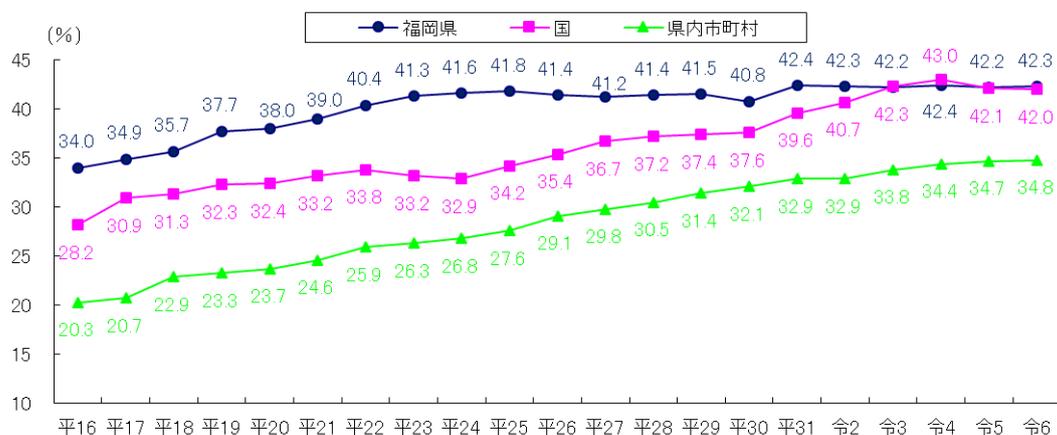
備考：福岡県労働政策課「令和 6 年度育児中の柔軟な働き方制度等に関する実態調査」

### 3 地域における男女共同参画の状況

#### (1) 審議会等に占める女性委員比率

福岡県の審議会等における女性委員の割合は、令和6年4月1日現在で42.3%と平成22年から15年連続で40%以上を維持しています。また、県内市町村の審議会等における女性委員の割合は、平成28年以降30%以上を維持しています。

《図表3-1 審議会等における女性委員比率（福岡県・全国）》

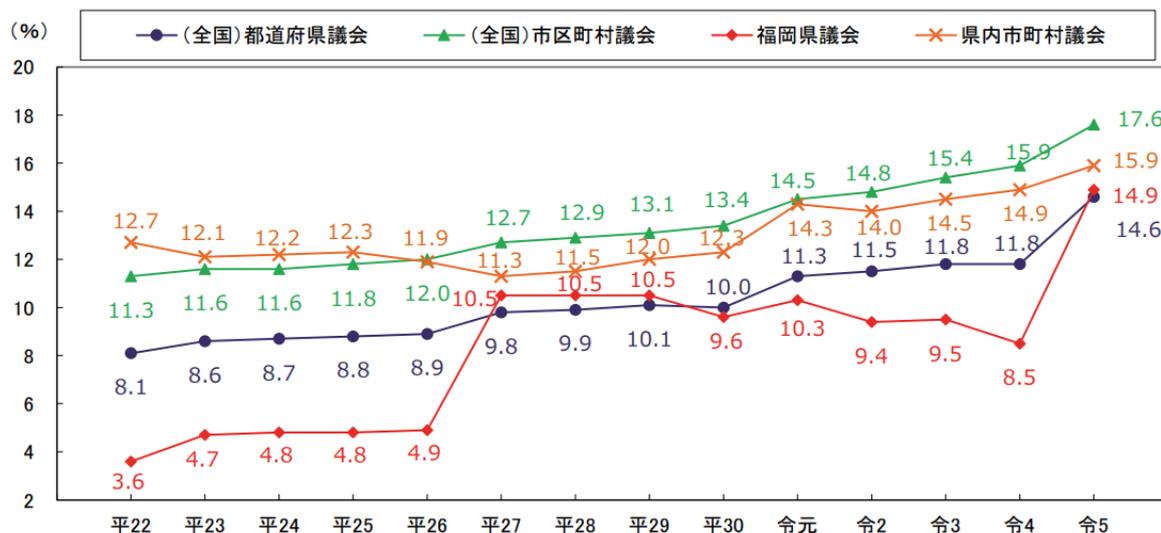


備考：内閣府男女共同参画局、福岡県男女共同参画推進課調べ

#### (2) 地方議会議員に占める女性の割合

福岡県議会議員に占める女性の割合は、令和5年12月現在で14.9%となっています。県内の市町村議会議員に占める女性の平均比率は、令和5年12月現在で15.9%となっており、前年度より増加しています。

《図表3-2 地方議会議員に占める女性の割合（福岡県・全国）》



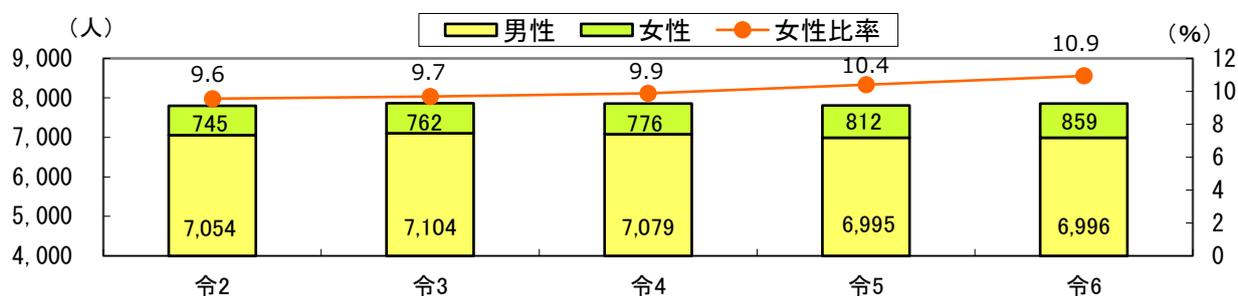
備考：総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調等」（令和5年）

### (3) 自治会における女性の参画

自治会長における女性の割合は、前年から0.5ポイント増加し、10.9%となりました。

《図表3-3 地域における役職等への女性の参画状況（福岡県）》

【自治会長】



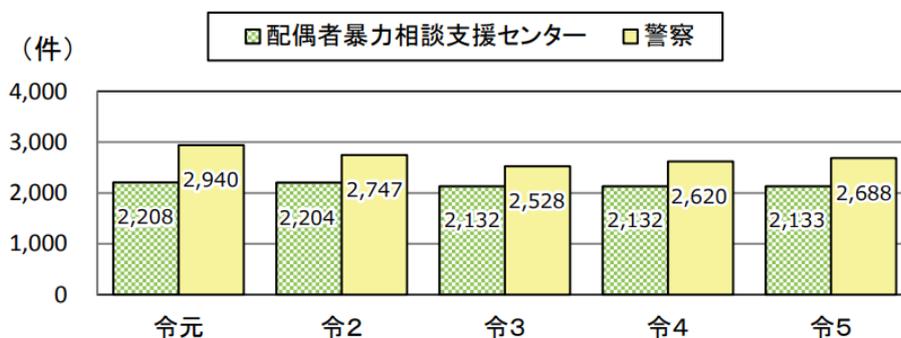
※ 備考：内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」（令和6年）より福岡県男女共同参画推進課作成

## 4 女性等に対する暴力の状況

### (1) 配偶者からの暴力についての相談件数

福岡県の配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数は、令和5年度は、2,133件で令和4年度からほぼ横ばいとなっています。県内の警察における配偶者からの暴力事案等の相談等件数は、令和5年は2,688件で前年から68件増加しました。

《図表4-1 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数<sup>※1</sup>及び警察における配偶者からの暴力事案等の相談等件数<sup>※2</sup>（福岡県）》



備考：※1（年度） 福岡県男女共同参画推進課調べ

※2（年） 福岡県警調べ（配偶者からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫を受けた被害者の相談等を受理した件数）

### (2) 性犯罪認知件数の推移

福岡県警察における性犯罪(※)の令和6年の認知件数は、482件と前年から増加しています。

※刑法改正に伴い、強制性交罪等が不同意性交罪、強制わいせつが不同意わいせつに変更となっています。

《図表4-2 性犯罪の認知件数の推移（福岡県）》

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
認知件数	381	321	228	251	281	362	482

備考：福岡県警察調べ